

(平成 29 年 5 月試験研究業務月報)

試験研究課題：我が国周辺漁業資源調査・資源評価調査

研 究

ブリの回遊生態調査

ブリは、府内の漁獲高が大きい重要魚種であり、特に「寒ブリ」は丹後を代表する冬の味覚の一つです。日本近海に広く分布する回遊魚ですが、近年の海水温の上昇等により分布や回遊の仕方に変化が認められることから、日本各地の水産研究機関が連携して調査しています。

5 月 18～19 日に新潟県佐渡市において、日本近海でのブリの回遊生態調査の一環として、標識放流試験を実施しました。これは、定置網で漁獲されたブリにプラスチック製の標識（下部写真参照）を付けて放流し、再び漁獲された時までの時間や移動距離、成長等から回遊生態を推測するもので、今回は体長 30～70 cm 台の 50 尾を放流しました。

今後、標識魚の漁獲情報を分析し、回遊生態の解明を進め、漁況予測など府内漁業者への情報提供に役立てていきます。



標識を付けたブリ

海洋センター